

留学だより vol.3



こんにちは！17期の近藤です。アメリカでの生活もあっという間に3ヶ月目が終わってしまい、4か月目に入ろうとしていて時の流れの速さを実感している今日この頃です。今月は学校での初行事であったHome comingの様子とFall break中に行ったカリフォルニア旅行について書いていきます！ぜひ最後まで読んでください。

Home Coming

Home coming期間の1週間は学校全体として盛り上がります。私の学校の今年のテーマはなんと“RIO”、私の名前だったんです。初めこれを聞いたときは今年しかないのに、なぜ今年のテーマが私の名前？と思っていました。しかし友達にも言われまくり、最後の最後にはもうこれも何かのご縁なんだ！と思うことにしました笑（学校の目の前の通りの名前もRio Saladoと言ってRioが入っているんです...）Spirit weekと言って月曜日からの5日間、テーマに合わせて仮装をしたりなど様々なことが学校で行われました。

月曜日：Birds of a feather(twin day)

火曜日：Tacky tourist day

水曜日：Wild animal Wednesday

木曜日：Copacabana beach day

金曜日：School spirit in Rio & Home coming game

午前中にはAssemblyという集会のようなものが開催されて、先生の顔にパイ投げをしたりなど楽しいことを体育館でしました。私はチアリーダーとしてこの集会に参加し、フットボールチームの男の子たちと一緒にダンスをしたりして楽しみました。放課後には、街を歩くパレードが開催される予定でしたが、この日は数年に一度の生憎の豪雨で浸水した場所が出てしまったり等で中止となってしまったのが残念でした。ただ毎週恒例のフットボールのゲームは無事決行となったので、本当によかったです！

土曜日：Home coming dance

学校の体育館でダンスパーティーが夜に開催されました。DJの音楽に合わせて全員がはしゃぎまくり、中には滝汗をかくほど必死になっていた男の子たちもいてすごかったです。初めてのアメリカでの学校行事、とてもいい思い出になりました！



Fall break

日本の学校に秋休みは存在しませんが、海外では1クォーターが終わったタイミングの10月のどこかで1週間弱ほど休みの期間があります。この期間に国外へ旅行するという人は私の友達の中にはおらず、違う州へプチ旅行をするというのが私の個人的なFall Breakの印象でした。

私はこのfall breakで3泊4日のカリフォルニア旅行に行きました。1番の目的はディズニーに行くことで、日本を出発する5日前にディズニーへ行くほどディズニーが大好きな私にとってこの旅行は、夢がまた一つ叶った忘れられない思い出になりました。



DAY 1

13時過ぎ、ホストファザーの仕事が終わったタイミングで出発し、カリフォルニアに向けてのロングドライブがスタートしました。結果的にかかった時間は6時間ほどでした。（東京から大阪や京都まで車で行くような感じだと思います）夜ご飯にはアメリカで初のDenny'sに行ったのですが、日本のファミレスDenny'sではなく、どちらかというとカフェのような感じだったことに少し驚きました。

DAY 2

2日目はついにディズニー1日目、California adventureに行きました。開園時間に合わせていったのですが、日本のように入園前に超長蛇の列に並ぶ必要もなく、スルッと入園することができて本当に最高でした。初めにあの有名なカーズのRadiator Springs Racersに乗って、自分が夢の国にいることを実感しました。この日は閉園時間が6時と、通常よりも早かったのですが、パーク内ほぼすべてのアトラクションを制覇することができて本当に嬉しかったです！



真ん中の写真はGuardians of the Galaxyというアトラクションなのですが、これだけ唯一乗ることができなかったです。このアトラクション、日本でもおなじみのTower of Terrorだったものを数年前に改良してこの名前になったらしく…絶叫の浮遊感が大の苦手な東京のディズニーでもタワテラだけ乗れない私は（他の絶叫は何とか乗れるまでに克服しました）乗ることを拒否してしまいました。いつか日本でのタワテラを克服した後に、また訪れてチャレンジしたいです。

DAY 3

ディズニー2日目、Disneylandに行きました。前の日はアリゾナに住んでいるホストファミリーの家族合計9人だけで行ったのですが、この日はユタ州に住んでいる親戚たちもみんな集まり、合計17人で行きました。キャストさんに、How many people in ur party?と聞かれる度に、seventeenと答えるのが不思議でした。



左の写真はits a small world の写真なのですが日本のはカラフルのため、真っ白だったことに驚きました。またここは唯一、列に並んでいる間のアナウンスで日本語の説明が流れたアトラクションで、まるで日本のディズニーにいるような感覚にもなりました。

DAY 4

最終日は、Los AngelesとHollywoodの観光と海へ行きました。



ここで少しHollywoodで感じた本当のアメリカンな話をしたいと思います。私はHollywoodに行って、初めてアメリカの治安の悪さ（治安の悪さという言葉がこのことに相応しいかはわかりませんが...）を実感しました。仮装している人に、一緒に写真撮らない??と誘われたり（写真を撮ってしまうと取り終わったタイミングでお金を要求されます）、サイン入りのCDを持ち歩いて、違法的に販売している人がいたり、少し言い方が悪いかもしれませんが人を騙してお金をゲットしようとしている人がたくさんいて、本当に怖かったです。

旅行の感想

この3泊4日間は車に6時間座りっぱなしか、ディズニーの中を歩いているか、アトラクションを楽しんでいるか、基本このどれかだったので、帰ってきたあとは本当に疲れていました。夢の国にいて、全てを忘れられるあの感じ（分かる人にはわかりますよね笑）は東京のディズニーの方がより感じられるなというのが私の正直な感想です。ただ、待ち時間が1時間を超えるアトラクションはほぼなく、何事もスムーズに行くカリフォルニアのディズニーの方が私は断然好きになりました。ずっと夢だったアメリカのディズニーに行けて大満足でした！

最後に（3か月間のまとめ）

アメリカに来て3ヶ月、1/3のちょっとしたまとめを今回は書きたいと思います。この3か月間、ホームシックやカルチャーショックになることはなく、毎日楽しく生活してこれたことが1番良かったです。Spiritlineのチームに中々馴染むことができないに加え、チームメイトと同じように技をこなせない自分が嫌になって悩んだり、英語力が伸びていることが実感できずに落ち込んだりと、マイナスな面もありました。けれど、抱え込まずにコーチやチームメイト、友達に打ち明けたことで今までのマイナスなことは全てすぐに解決です！！実際にアメリカに来て、10か月間をどれだけ有意義なものできるかは自分次第という言葉がすごく自分に響いていて、本当に自分の行動次第でどれだけ成長できるか、どれだけのことを得て帰れるかが変わるなというのを早いうちに気付くことができました。残り半年以上ある留學生活で何がしたいかを改めて考えて、これからの留學生活もさらに楽しんでいきたいです！

最後まで読んでくださりありがとうございました。今月末にはハロウィンがやってきますね！あと木曜日が〇回きたらクリスマス、〇回来たら2026年という話もよく耳にする時期になってきました。次号の留學だよりも楽しみに待っていただけると嬉しいです。